

富士山エリアを完全ガイドするウェブサイト「フジヤマ NAVI」

全国を 8 つのエリアに分けた比較調査!!

「富士山の世界遺産登録に関する全国意識調査」を発表

「今年登録されるかも知れない」ことの認知率は関東 58.5%、九州・沖縄 34.5%

「世界遺産にふさわしいと思う候補地」は、「富士山」が圧倒的 1 位!!

“富士山エリアを完全ガイドするウェブサイト”「フジヤマ NAVI」〔運営：富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市、社長：堀内光一郎）〕では、2月23日の富士山の日を前に「富士山の世界遺産登録に関する全国意識調査」を行いました。

富士山については、いよいよ今年の夏（6月頃）にも「世界遺産」に登録されるかどうかが発表される予定です。そのXデーに向け、地元はもちろんのこと、日本全体での盛り上がりを期待したいところですが、その関心度合は地域によってまだ差がありそうです。そこで今回、全国 8 エリアごとに富士山の世界遺産登録に向けた興味・関心を比較調査。本調査を発表することで、人々が世界遺産登録について、より関心を持つきっかけ作りをしたいと考えています。

本調査の結果、次のようなエリアごとの特徴や、世界遺産登録への意識の差などが明らかになりました。

※本調査結果をご掲載いただけます場合は、「フジヤマ NAVI の調査である」旨を表記いただければ幸いです。

－調査結果トピックス－

- 「今年登録されるかも知れない」ことの認知率は関東エリアが最も高く 58.5%に達する。
一番低い九州・沖縄エリアはわずか 34.0%となり、認知率には 20 ポイント以上の開き。
- 「世界遺産登録にふさわしいと思う日本の候補地」は「富士山」が 1 位で、全国平均 54.7%の支持を集める。
- 富士山の世界遺産登録を「支持する」は、一番高い中部エリアで 88%。一番低い東北エリアでも 75%。
- 世界遺産登録されたら「富士山の環境問題を気にしそう」が最も多く全国で 34.8%、登録後の行動は、中国エリアの人が最も活発化!?

調査概要

- ◆調査名： 「富士山の世界遺産登録に関する全国意識調査」
- ◆調査期間： 2013年2月8日（金）～2月12日（火）
- ◆調査対象者： 全国の 20 代～60 代の男女、1,600 人
- ◆割付方法： 北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州沖縄 各 200 人
- ◆調査方法： インターネット調査 ◆調査機関： オリコン・モニターリサーチ

各エリア分類

- ①北海道
- ②東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
- ③関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
- ④中部（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）
- ⑤近畿（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
- ⑥中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）
- ⑦四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
- ⑧九州・沖縄（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

■ 今年登録されるかも知れないことの認知率は関東エリアが最も高く 58.5%に達する。

一番低い九州・沖縄エリアはわずか 34.0%となり、認知率には 20 ポイント以上の開き。

“富士山の世界遺産登録が今年実現するかも知れない” ことについて知っているか尋ねたところ、関東エリアでの認知率が最も高く「知っていた」19.0%、「なんとなく知っていた」39.5%で、合わせると 58.5%でした。次いで高いのは中部エリアで「知っていた」22.0%、「なんとなく知っていた」34.5%で、合計 56.5%の認知率になっています。一方、地理的に遠いエリアでは認知率が低い傾向があり、北海道では「知っていた」12.0%、「なんとなく知っていた」25.0%で合わせて 37.0%に留まり、九州・沖縄エリアにいたっては、「知っていた」9.5%、「何となく知っていた」24.5%と合計 34.0%しか認知していませんでした。

Q1：あなたは「今年、富士山が世界遺産に登録されるかも知れない」ということを知っていましたか？

(単一回答/n=1,600/単位：%)



■ 世界遺産登録にふさわしい日本の候補地は「富士山」が1位で、全国平均 54.7%の支持を集める。

現在、「世界遺産暫定リスト」に掲載されている日本国内 13 件の中で、世界遺産登録にふさわしいと思う候補地を 3 つ選んでもらったところ、全国エリアで「富士山」を挙げた人が 54.7%を占め、1 位になりました。特に多かったのがお膝下である中部エリアで 64.0%を占めます。次に多かったのが四国エリアで、こちらも 59.5%を占めました。最も富士山を選んだ人が少なかったのは北海道、および東北エリアですが、それぞれ 48.0%と、他の候補地とは大きな開きがありました。

それぞれ選んだ理由を自由回答で尋ねると、富士山以外の候補地では「地元だから」「身近だから」という回答が多い一方で、富士山に関しては「日本一の山だから」「日本を代表する山だから」という回答が多く挙がりました。居住地域に影響しない“日本の象徴”としてのポジションが高い支持率の背景にあることが伺えます。

Q2：2013年2月時点で、「世界遺産暫定リスト」[※]に掲載されている日本国内13件の中で、世界遺産登録にふさわしいと思う候補地を3つまで選択してください。（3つ選択／n=1,600／単位：％）

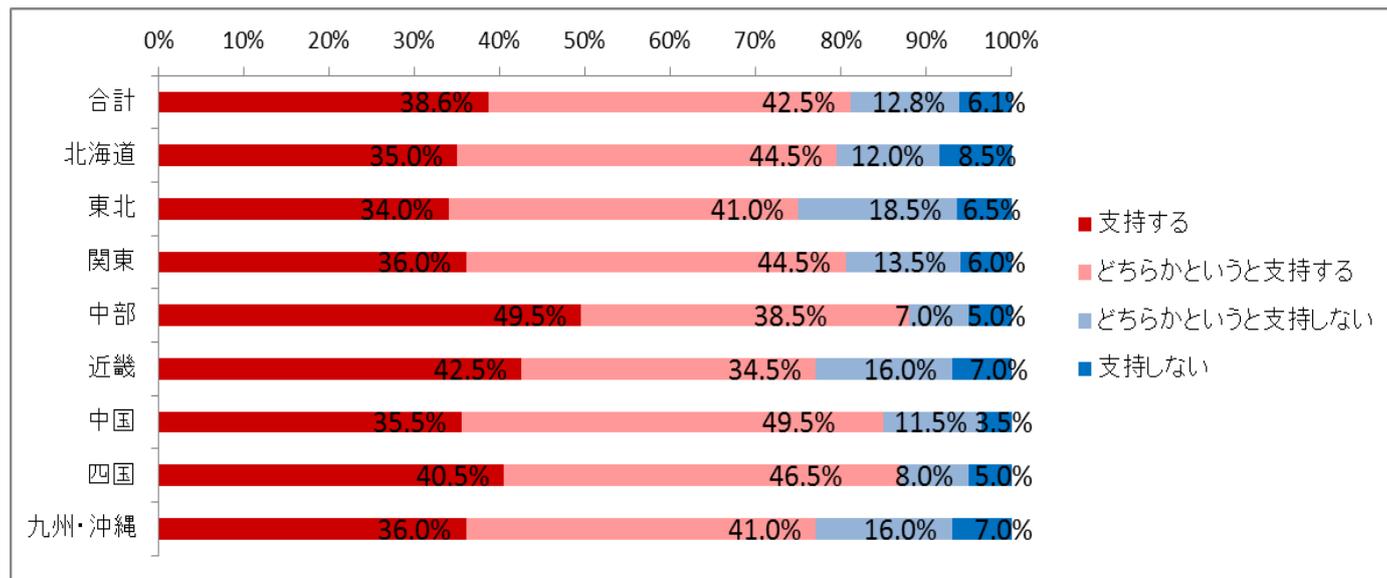
※：「世界遺産暫定リスト」とは、各国が世界遺産への登録を目指して国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出する候補の一覧表。リストに載せた候補のうち、登録準備が整ったと判断した遺産の推薦書をユネスコに提出し、世界遺産委員会で登録の可否が決まる。

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄
北海道・北東北の縄文遺跡	13.0%	24.0%	26.0%	6.0%	6.0%	9.5%	11.0%	12.5%	9.0%
佐渡鉱山の遺産群	7.8%	5.0%	7.5%	8.0%	10.5%	6.5%	8.5%	11.0%	5.5%
富岡製糸場と絹産業遺産	9.6%	9.0%	13.0%	10.0%	7.5%	12.0%	11.0%	9.0%	5.5%
国立西洋美術館・本館	2.8%	1.0%	3.0%	5.0%	7.0%	1.0%	2.5%	2.0%	1.0%
武家の古都・鎌倉	20.1%	22.5%	26.5%	25.5%	20.0%	13.0%	15.5%	17.5%	20.0%
富士山	54.7%	48.0%	48.0%	54.5%	64.0%	58.0%	54.0%	59.5%	51.5%
彦根城	7.8%	6.5%	5.0%	7.0%	15.5%	10.5%	7.5%	5.5%	5.0%
飛鳥・藤原の宮都と 関連資産群	14.7%	11.5%	15.5%	16.0%	15.5%	20.5%	13.0%	13.5%	12.0%
百舌鳥・古市古墳群	4.1%	4.0%	1.5%	3.0%	5.0%	11.5%	3.0%	2.5%	2.0%
宗像・沖ノ島と関連遺産群	3.1%	2.0%	0.5%	1.0%	1.5%	4.5%	3.5%	3.5%	8.0%
長崎の教会群と キリスト教関連遺産	16.1%	13.0%	12.5%	16.0%	14.5%	13.5%	18.0%	13.0%	28.5%
九州・山口の近代化産業遺産	2.3%	1.0%	1.0%	0.5%	0.5%	0.5%	7.5%	0.5%	6.5%
奄美・琉球 (鹿児島県、沖縄県)	32.3%	33.5%	30.0%	31.0%	28.5%	37.0%	29.5%	35.0%	33.5%
この中に あてはまるものはない	16.5%	14.5%	19.0%	19.5%	13.5%	14.0%	18.5%	16.0%	17.0%

■富士山の世界遺産登録を「支持する」は、一番高い中部エリアで88%。一番低い東北エリアでも75%。

富士山の世界遺産登録を支持するかについて聞いてみたところ、中部エリアでは「支持する」が49.5%と積極的に支持する人がほぼ半数を占め、「どちらかという支持する」の38.5%も合わせると、実に88.0%が支持しているという結果になりました。一方、支持率が最も低かったのは東北エリアですが、それでも「支持する」と積極的な支持を示した人が34.0%に達し、「どちらかという支持する」の41.0%を合わせると75.0%が支持しています。

Q3: あなたは富士山の「世界遺産」登録を支持しますか？（単一回答／n=1,600／単位：％）



支持する理由を全国で見ると、「世界に誇れるものが増えるから」が44.3%と最も多く、ついで「日本の象徴が登録されていなかったこと自体がおかしい」が38.8%で続きます。

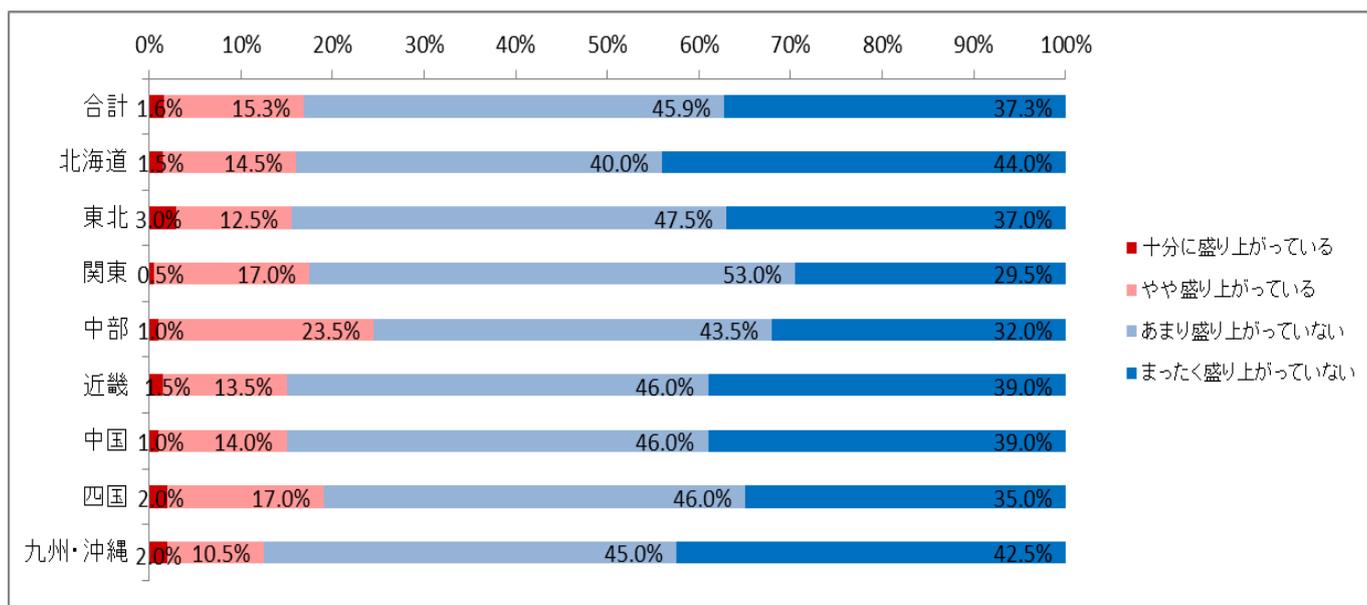
Q4: 富士山の世界遺産登録を支持する理由に近いものをお知らせください。

（複数回答／Q3で「支持する」「どちらかという支持する」と回答した1,298人／単位：％）

	日本に活気が出そう	日本の象徴が登録されてなかった事自体がおかしい	世界に誇れるものが増えるから	日本という国の格が上がりそう	海外からの観光客が増えそう	その他
合計	33.1%	38.8%	44.3%	9.7%	25.3%	3.6%
北海道	35.2%	30.8%	39.0%	11.9%	26.4%	7.5%
東北	35.3%	42.0%	39.3%	8.0%	29.3%	0.7%
関東	34.8%	42.2%	49.1%	9.9%	24.8%	5.0%
中部	30.1%	37.5%	47.2%	8.0%	26.1%	4.5%
近畿	35.1%	42.9%	42.2%	8.4%	27.9%	3.9%
中国	31.8%	40.6%	44.7%	11.8%	22.9%	2.9%
四国	36.8%	35.1%	43.1%	8.6%	21.3%	2.3%
九州・沖縄	26.0%	39.6%	49.4%	11.0%	24.0%	1.9%

一方、世界遺産登録へ向けたムードについては盛り上がりが足りないようです。「あまり盛り上がっていない」45.9%、「まったく盛り上がっていない」37.3%と、合わせて83.2%が盛り上がりには欠けていると認識しており、Q3で明らかになった世界遺産登録の高い支持率が、ムードの盛り上がりには直結していない様子が伺え、今後は更なる機運の高まりが求められそうです。

Q5：富士山の「世界遺産」登録へ向けたムードについて、あなたの感想に近いものをお知らせください。
(単一回答／n=1,600／単位：%)



■世界遺産登録されたら「富士山の環境問題を気にしよう」が最も多く全国で34.8%、登録後の行動は、中国の人が最も活発化!?

では、富士山の世界遺産登録が実現したときに、人々にはどのような影響があるのでしょうか。聞いてみたところ、最も多かったのが「富士山の環境問題を気にしよう」で、34.8%の人が挙げています。続いて、「富士山方面へ旅行に行きたくなりそう」(28.8%)、「富士山について興味・関心が高まりそう」(27.8%)が挙げられました。特に、中国エリアでは上記3項目が他エリアに比べて突出して高く、世界遺産登録が行動に与える影響が大きいエリアであることが分かりました。 ※次ページ参照

Q6：富士山の「世界遺産」登録が実現したとして、あなたの行動に与えそうな影響を以下の中からお知らせください。

(複数回答／n=1,600／単位：%)

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
富士山に登りたくなりそう	15.1%	14.0%	18.0%	19.5%	12.5%	15.5%	14.5%	13.0%	14.0%
富士山方面へ旅行に行きたくなりそう	28.8%	24.0%	25.0%	32.0%	31.0%	28.5%	34.0%	28.0%	27.5%
富士山の環境問題を気にしそう	34.8%	28.0%	31.5%	36.5%	39.5%	39.5%	42.0%	31.0%	30.5%
富士山について興味・関心が高まりそう	27.8%	25.5%	21.0%	29.5%	28.0%	28.0%	34.0%	29.5%	26.5%
富士山が見たくなりそう	21.9%	18.0%	20.0%	19.0%	25.0%	22.5%	22.0%	19.0%	30.0%
富士山が見える場所に住みたくなりそう	1.2%	0.0%	1.5%	2.0%	1.5%	1.0%	0.5%	1.0%	2.0%
その他	1.1%	1.0%	0.0%	2.5%	0.5%	2.5%	2.0%	0.5%	0.0%
あてはまるものはない	26.4%	30.5%	30.5%	21.5%	24.5%	26.5%	19.0%	28.0%	31.0%

今回、報道していただいた情報を見て、より詳しく知りたいと思った一般の方々に向けて、「フジヤマNAV I」内には“富士山世界文化遺産へ向けた活動を解説したページ”や“調査の詳細を掲載したページ”をご用意しております。

<http://www.fujiyama-navi.jp/fujisan/> (富士山世界文化遺産紹介ページ)

<http://www.fujiyama-navi.jp/report/heritage130221> (調査結果)

※本日2月21日よりご覧いただくことができます。

「フジヤマNAV I」では今後も、“富士山が2013年夏の世界文化遺産登録を目指していること”をより多くの人に知ってもらうことで、登録された時の喜びをより大きなものとし、その喜びで日本を元気することを目指した活動を行ってきます。